

見のがさ
ないで！

せきらんうん

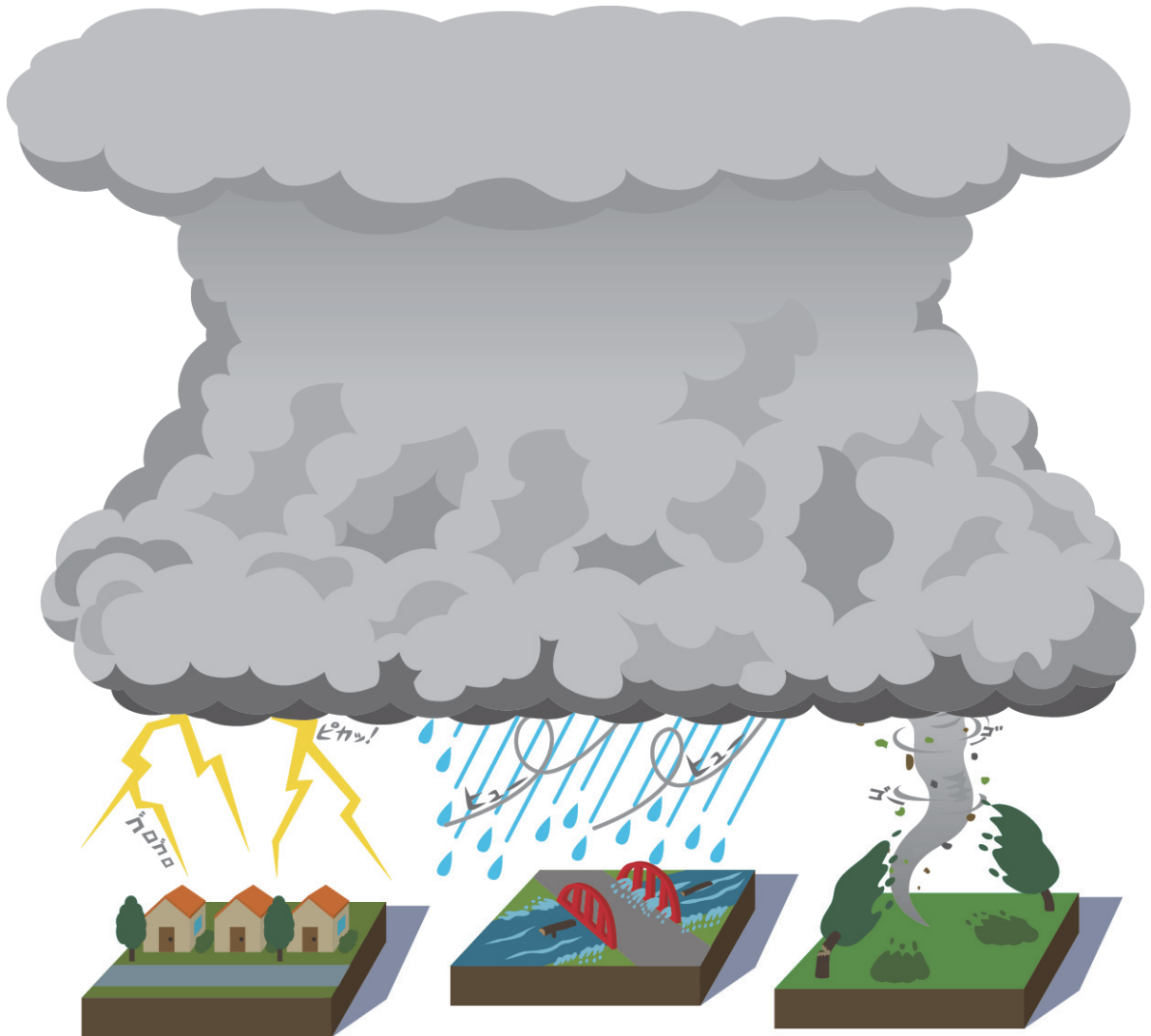
積乱雲が近づくサイン

かみなり

たつまき

急な大雨・雷・竜巻から 身を守ろう！

— 気象防災ワークシート —





キミなら
どうする？

とつぜんの大雨のとき

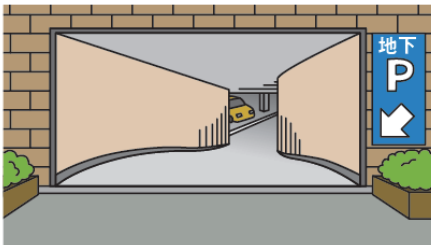
友だち同士で塾^{じゅく}へ行く途中^{とちゆう}、急に大雨がふってきました。そんなとき、どのようにすればよいと思いますか？

下の例のうち、正しいものには○、まちがっているものには×をつけて、その理由を書いてみましょう。



1 雨が止むまで橋の下で待つ。 (×)

理由 その場所や川の上流の大雨で、急に川の水がふえて
危険だから。



2 建物や駐車場の地下に入る。 (×)

理由 地下に水が流れこむとにげ出せなくなって危険だから。



3 近くの建物の1階以上の場所で雨宿りする。 (○)

理由 雨や雷^{かみなり}をさけて、安全に過ごすことができるから。
地下は危ないから。



4 大雨の中を走って帰る。 (×)

理由 大雨の中だと車にぶつかる危険がある。また、道路に水がたまり側溝^{そっこう}などに落ちると危ないから。

かみなり

雷が聞こえたとき



友だちと公園にいたら、遠くから ^{かみなり} 雷の音が聞こえてきました。そんなとき、どのようにすればよいと思いますか？

下の例のうち、正しいものには○、まちがっているものには×をつけて、その理由を書いてみましょう。



1

身に付けている ^{きんぞく} 金属のものをすべて取れば安心。

(×)

理由 ^{きんぞく} 金属を身に付けているかどうかは ^{かみなり} 雷に関係ないから。



2

大きな ^{かみなり} 雷の音が近づくまでは、ようすを見る。

(×)

理由 ^{かみなり} 雷の音が遠くでなっている場合でも、次の ^{かみなり} 雷は今いる場所に落ちる可能性があるから。



3

^{かみなり} 雷が光ってから音がするまで10秒以上ならだいじょうぶ。

(×)

理由 秒数にかかわらず、音が聞こえたらすでに安全ではないから。



4

木の下にひなんする。

(×)

理由 木を伝わって人に ^{かみなり} 雷が落ちることがあるから。



5

近くのしっかりした建物にすぐにひなんする。

(○)

理由 ^{かみなり} 雷に打たれる心配がなくて安全だから。



キミなら
どうする？

たつまき

竜巻が見えたとき

友だちと外にいたら、^{たつまき}竜巻が見えました。そんなとき、どのようにすればよいと思いますか？
下の例のうち、正しいものには○、まちがっているものには×をつけて、その理由を書いてみましょう。



撮影：つくば市北条 吉澤さん

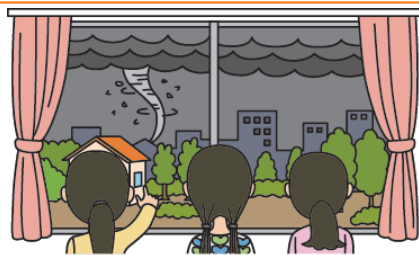


1

^{がんじょう}すぐに頑丈な建物へ
ひなんする。

(○)

理由 ^{たつまき}建物が竜巻にふき飛ばされないから。



2

^{たつまき}竜巻が近づいてこないか
どうかを窓から見続ける。

(×)

理由 窓ガラスが^わ割れて飛びちるとあぶないから。



3

できるだけ窓からはなれる。

(○)

理由 窓を^つ突き破^{やぶ}って飛んでくるものから身を守るため。

ここまで^{かみなり たつまき}に学んできた、急な大雨・**雷・竜巻**を引き起こす原因は、発達した^{せきらんうん}**積乱雲**です。**積乱雲**とはどのような雲で、私たちは自分の身を守るためにどうすればよいのでしょうか？

もう一度、
ふりかえって
みよう。



せきらんうん 積乱雲ってどんな雲？

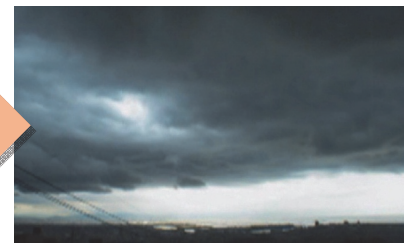
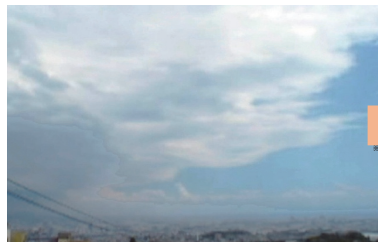
夏によく見られる、もくもくとした形で空に高くのびる大きな雲を^{せきらんうん}積乱雲といいます。^{せきらんうん}積乱雲は、急な大雨や^{かみなり}雷、^{はげ}竜巻といった^{げんしょう}激しい自然現象を引き起こし、それが原因で人が死亡する^{じこ}事故も毎年のように起きています。

^{せきらんうん}積乱雲はかみなり雲とも呼ばれています。



あっという間に変わる天気

一つの^{せきらんうん}積乱雲が発生してから雨をふらせて弱まるまでの時間は、30分から1時間くらいです。そのため、今は晴れていたり、^{こさめ}小雨だったとしても、あっという間に^{きけん}天気が変化して危険な状態になります。



わずかな時間で雲のようすが大きく変わります。

よほう 出かける前に天気予報のチェック



出かける前には^{よほう}天気予報をしっかりと^{かくにん}確認しましょう。「大気の状態が不安定」「天気が変わりやすい」「^{らいう}雷雨に注意」といった言葉が出てきたら、注意が必要です。

せきらんうん 積乱雲が近づいてくるときのサイン

せきらんうん
積乱雲が近づいてくるときには、特ちょう的なサインがあります。



空が暗くなる



冷たい風が吹いてくる



かみなり
雷が見える・聞こえる



このような天気の変化に気づいたら、なるべく外に出ないか、すぐにじょうぶな建物にひなんしましょう。

せきらんうん 積乱雲が近づくのを感じたら

「空が暗くなる」「冷たい風が吹いてくる」「雷かみなりが見える・聞こえる」などの積乱雲せきらんうんが近づくサインを感じたら、まもなく急な大雨らくらいや落雷らくらいが起きます。竜巻たつまきがおそってくる場合もあります。鉄きんコンクリートのビルなど、すぐに近くのじょうぶな建物の中へ入りましょう。

大雨がふると、地下に水が流れ込むことがあるので、地上より上の階にいるようにしましょう。雷かみなりのときは車や列車の中も安全ですが、竜巻たつまきのときは車も飛ばされてしまうので危険きけんです。また、飛んできたものが窓つを突き破り、部屋にガラスが飛び散ちるおそれがあるので、窓に近づいてはいけません。テーブルの下など、飛んでくるものから身を守れる場所へひなんしましょう。

雷が聞こえなくなっても20分くらいは、むやみに外に出ないでください。



どんな危険があるの？

大雨の水辺では

川の水が急げきにふえて、川原にとり残されたり、流されるおそれがあります。自分がいるところに雨があまりふっていないなくても、上流に黒い雲がある場合には大量の水が押しよせてくるかもしれないので、すぐに川の近くからはなれましょう。



大雨の道路では

道路に水があふれて川のようになってしまうことがあります。そうした中で歩くのはとても危険です。水の流れに足をとられ、足もとも見えないので側溝やマンホールに落ちてしまう可能性があります。



雷のときは

雷に打たれて、一瞬で命を落としてしまうおそれがあります。



木に落ちた雷が人に伝わることもあるので、木の下は危険です。

竜巻が起こると

猛烈な風に巻きこまれて、人はもちろん、車や組み立て式の小屋などもふき飛ばされてしまいます。風で飛ばされたものが猛スピードでおそってくることもあり、大けがや死亡のおそれがあります。



竜巻による被害

「自分はだいじょうぶ」とは思わないで！

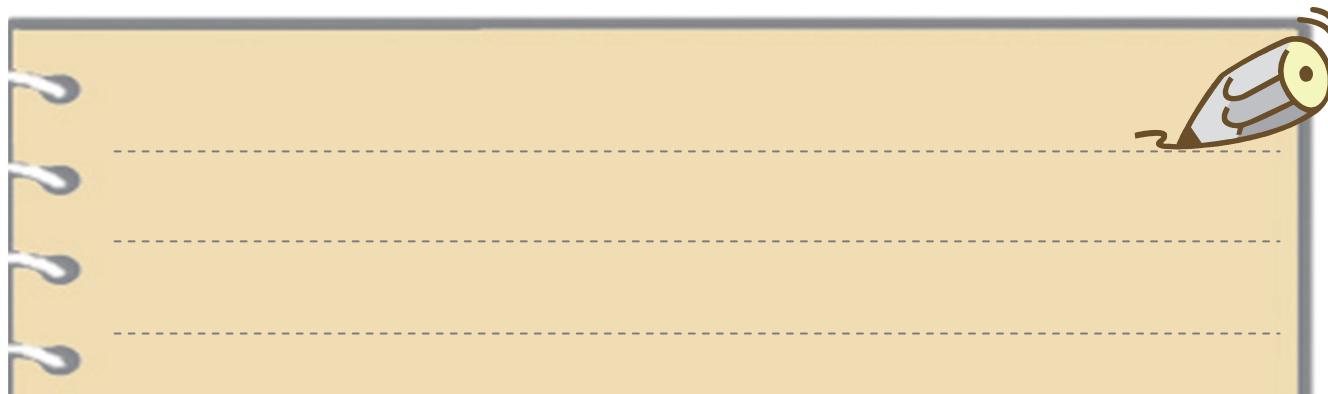
人には危険が目の前にせまっても、「たいしたことはない」とか「自分はだいじょうぶ」と思いたがる傾向があります。こうした気持ちにまどわされずに、危険のサインを見つけたらすぐに身を守る行動をとりましょう。

油断はぜったいに
禁物じゃぞ。

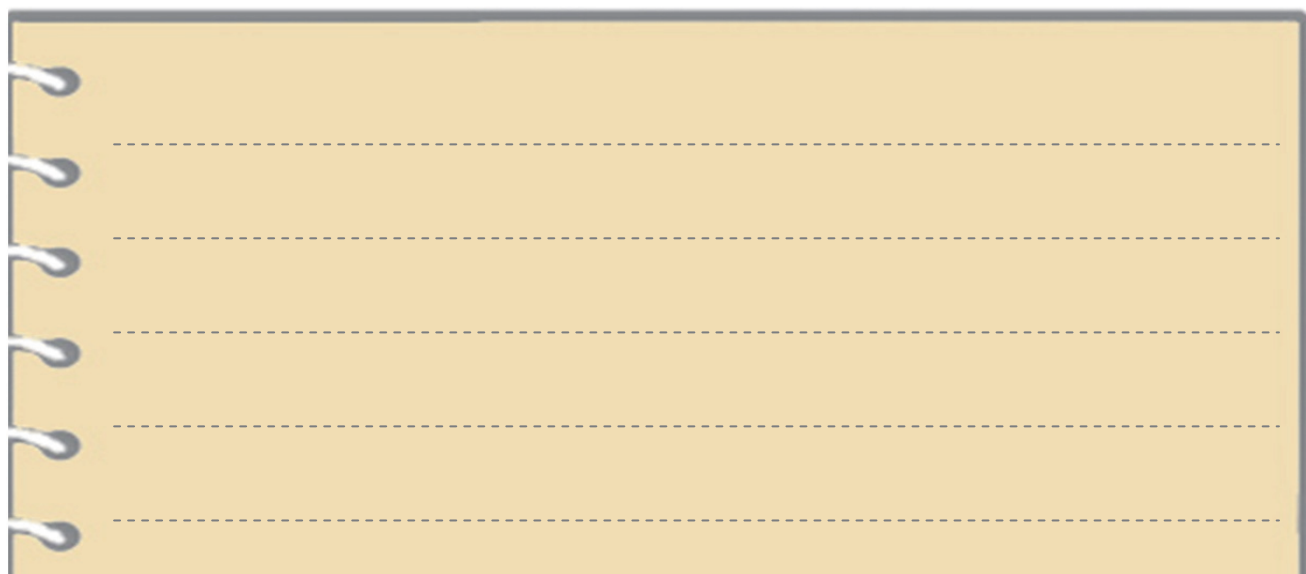


まとめ

この映像^{えいそう}を見て、気づいたことや感じたことを書いてください。



学校や友だちの家、習い事など、あなたがよく行く場所の行き帰りに、積乱雲^{せきらんうん}が近づくサインを感じたら、どうすればよいと思いますか？
家族とも話し合ってみましょう。



お問い合わせ先：気象庁 予報部 予報課 気象防災推進室
〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4
電話：03-3212-8341（代表）
FAX：03-6689-2917（耳の不自由な方向け）
<http://www.jma.go.jp/>

監修：全国学校安全教育研究会会長 板橋区立志村第一小学校校長 矢崎良明氏